

# 市民意識調査結果の概要

## 【アンケート対象者】

- ・市内在住の18歳以上の市民
- ・回収数 1,592件/3,036件 (回収率 52.4%)

## 【回答者属性について】

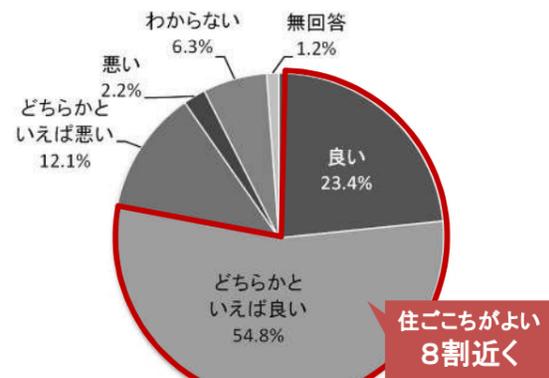
- ・回答者の4割は60歳以上で、性別は男性47%、女性51%とほぼ同数
- ・居住地区は、能登川地区が2割、八日市地区、五個荘地区、蒲生地区が1割

## ■住みごちや愛着等について

8割近くが住みごちがよいと考え、愛着を感じている人も7割近くみられるが、東近江市を自慢できるとした割合が少ないことから、他に誇れるような魅力の再発見やPRの強化が必要と考えられる。

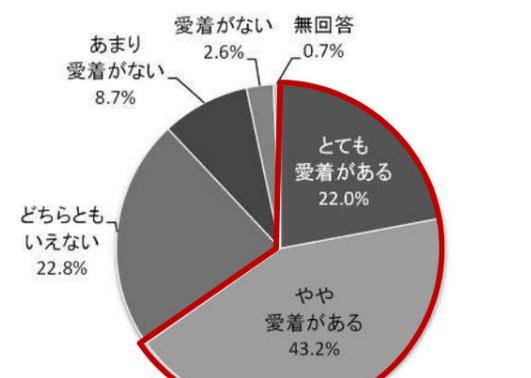
- ・8割近くの人が住みごちがよいと考えている。また、7割近くが愛着を感じている(年齢が上がるほど増加)。
- ・4割近くが東近江市を自慢できると考えている一方で、「どちらともいえない」との回答も約4割となっている。
- ・友人・知人を案内する観光地は、美しい自然環境や食事・買い物、歴史・文化、まち並み景観などが楽しめるなどの要件が求められている。

Q: 東近江市の住みごち



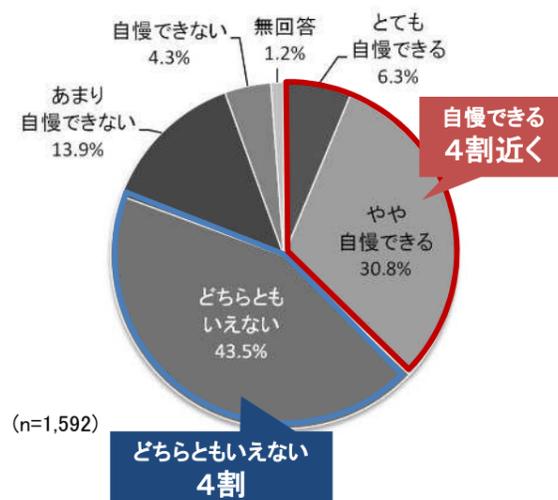
(n=1,592)

Q: 東近江市への愛着



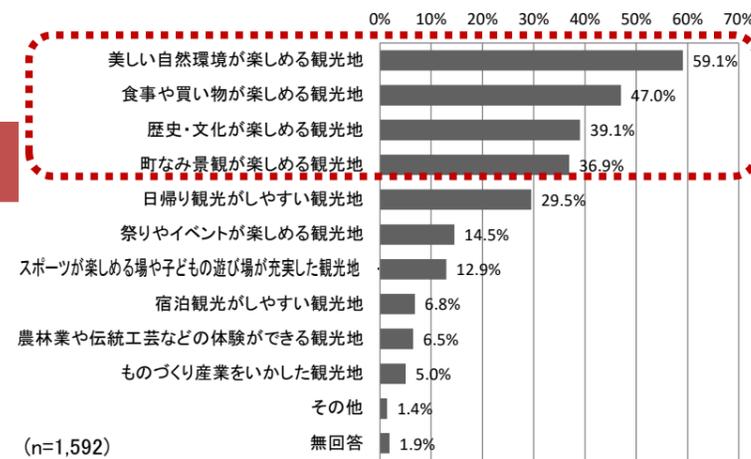
(n=1,592)

Q: 東近江市を自慢できるか



(n=1,592)

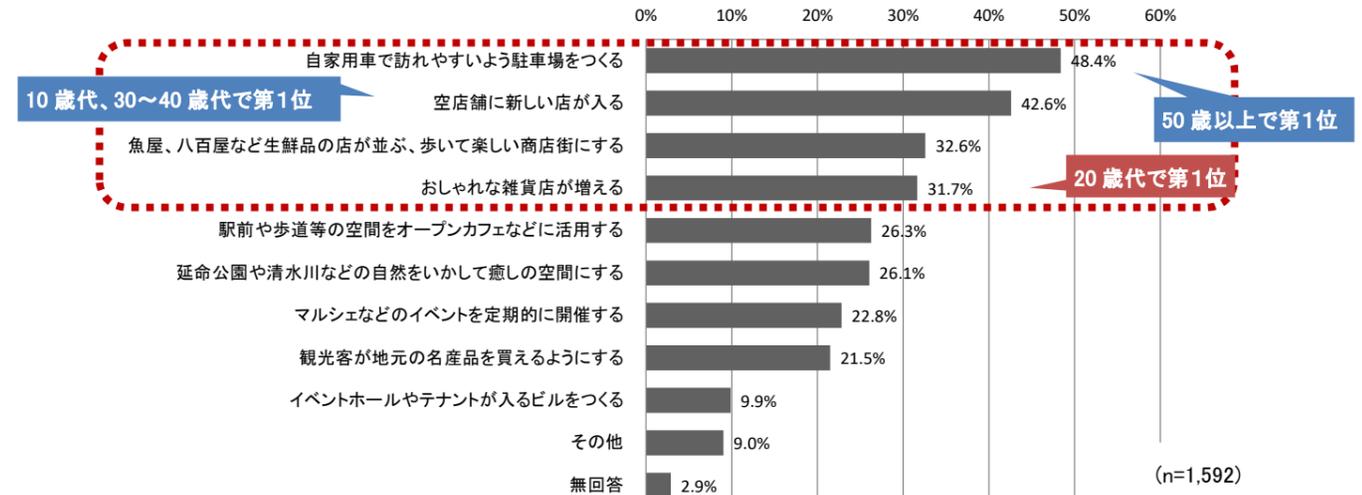
Q: 友人・知人を案内する観光地(複数選択)



(n=1,592)

- ・中心市街地の活性化には、駐車場の整備や空店舗の解消をはじめ、魚屋、八百屋、おしゃれな雑貨店などの店舗が並び、歩いて楽しい商店街にすることが求められている。

Q: 中心市街地が活性化するために必要なこと(複数選択)

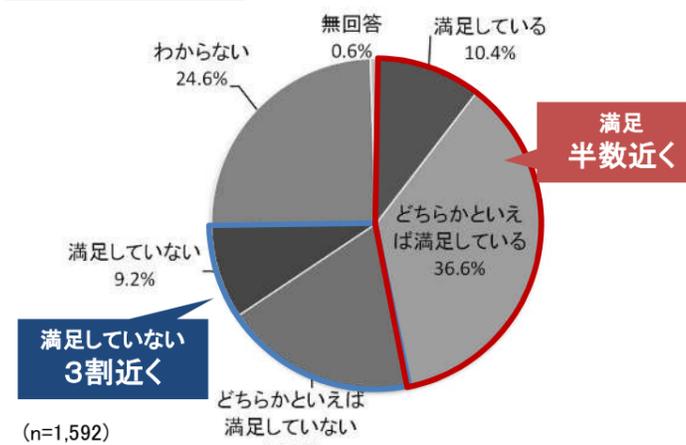


## ■健康や福祉について

さらなる医療体制の充実や健康長寿社会の実現に向けた運動習慣の定着促進が必要と考えられる。

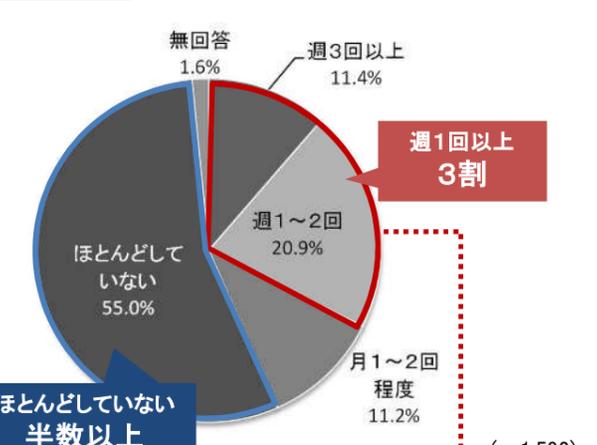
- ・病院や救急時の医療体制については半数近くが医療体制に満足している一方で、3割近くは満足していない。
- ・スポーツやレクリエーション等の運動は、3割が週1回以上している一方で、半数以上が「ほとんどしていない」と回答
- ・社会体育施設で開催するスポーツ教室の内容としては、健康づくり・介護予防、体力づくりへの希望が多い。

Q: 医療体制の満足度



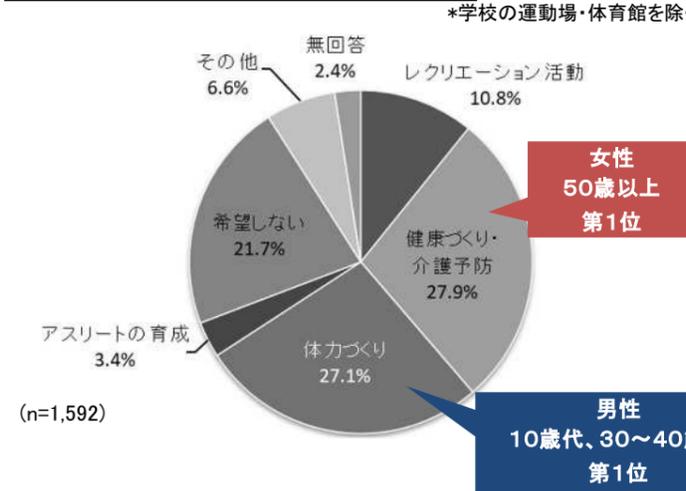
(n=1,592)

Q: 運動の頻度



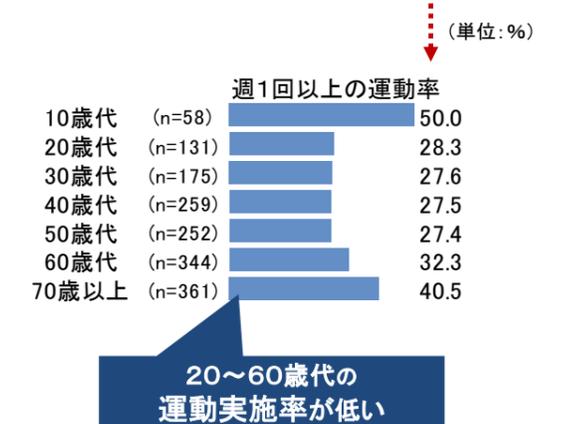
(n=1,592)

Q: 社会体育施設\*で開催するスポーツ教室



(n=1,592)

◆年齢別運動の実施状況



(単位: %)

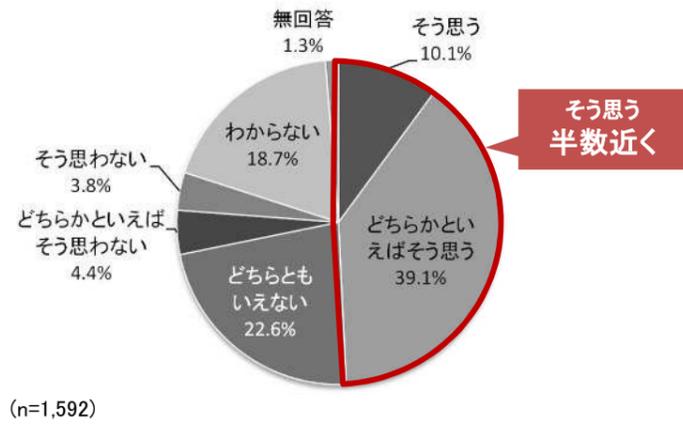


## 子育てや教育について

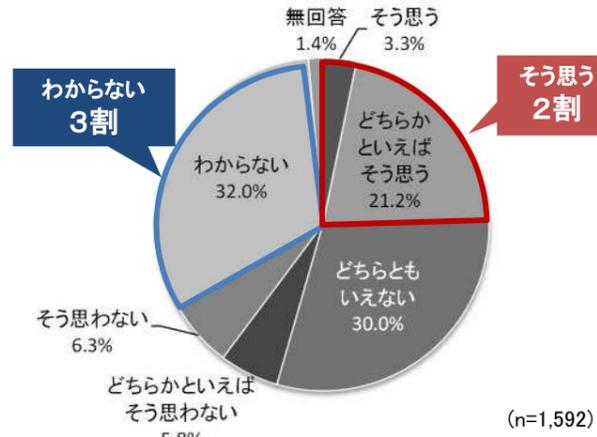
子育て環境は半数が良い環境と考えており、子育て環境のさらなる充実と、それをいかした若い世代の移住・定住促進が必要、また、人権が尊重されていると実感できる取組が必要と考えられる。

- 半数近くが、東近江市は子育てをするのに良い環境だと思っている。
- 人権が尊重されるまちになっていると思う人は2割で、3割が「わからない」と回答している。

Q: 東近江市が子育てをするのに良い環境か



Q: 東近江市は人権が尊重されるまちになっているか

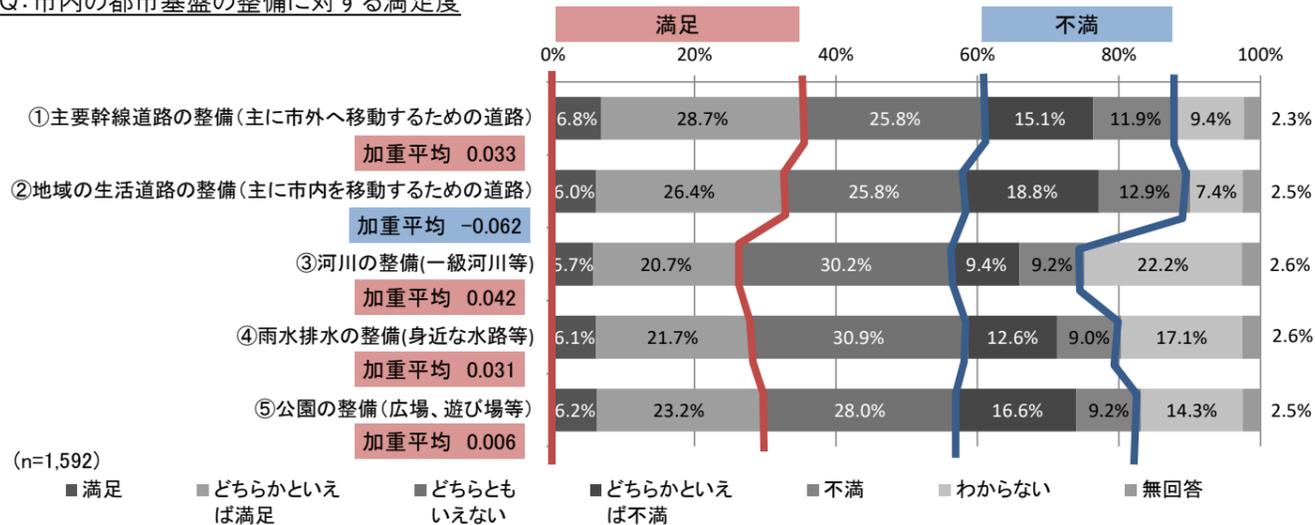


## 都市整備について

地域の生活道路をはじめ、道路や公園の整備などの推進が必要と考えられる。

- 総合的な評価（加重平均\*）の高い順は、③河川の整備、①主要幹線道路の整備、④雨水排水の整備、⑤公園の整備、②地域の生活道路の整備（いずれも若い世代ほど評価が高い。）
- いずれも不満な人より満足の人の方が多く、道路（①と②）と公園（⑤）は不満な人も多くみられる。

Q: 市内の都市基盤の整備に対する満足度



◆年齢別評価  
(加重平均)

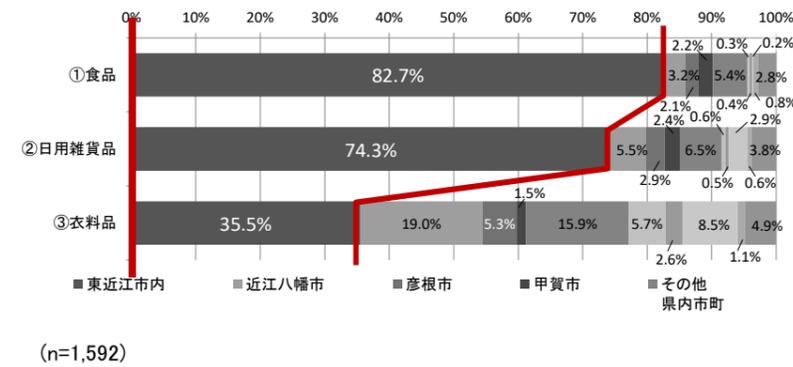
	①主要幹線道路	②地域の生活道路	③河川	④雨水排水	⑤公園
全体	0.033	-0.062	0.042	0.031	0.006
10歳代 (n=58)	0.431	0.345	0.483	0.379	0.293
20歳代 (n=131)	0.298	0.130	0.282	0.206	0.061
30歳代 (n=174)	0.057	-0.080	0.189	0.080	-0.017
40歳代 (n=259)	0.023	-0.054	0.228	0.054	0.054
50歳代 (n=252)	-0.075	-0.119	0.079	0.040	-0.032
60歳代 (n=344)	-0.140	-0.221	-0.195	-0.047	-0.108
70歳以上 (n=361)	0.108	-0.003	-0.122	-0.066	0.055

## 購買状況等について

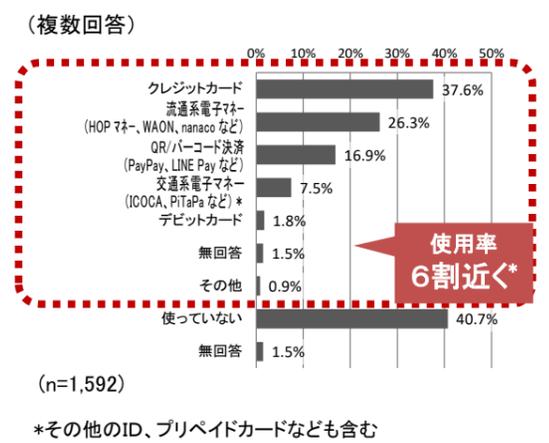
食品や日用雑貨品は市内消費率が高いが、衣料品は半数近くが市外へ依存しており、消費の流出を抑える対策が必要と考えられる。

- 食品は8割、日用雑貨品は7割が市内で購入しているが、衣料品は若い世代を中心に半数近くが市外（近江八幡市、その他県内市町等）で購入している。
- 若い世代を中心に6割近くが週1回以上、キャッシュレス決済を使用している（クレジットカード約4割、流通系電子マネー約3割、QR/バーコード決済約2割）。

Q: 食品、日用雑貨品、衣料品の購入先



Q: 週1回以上使用のキャッシュレス決済

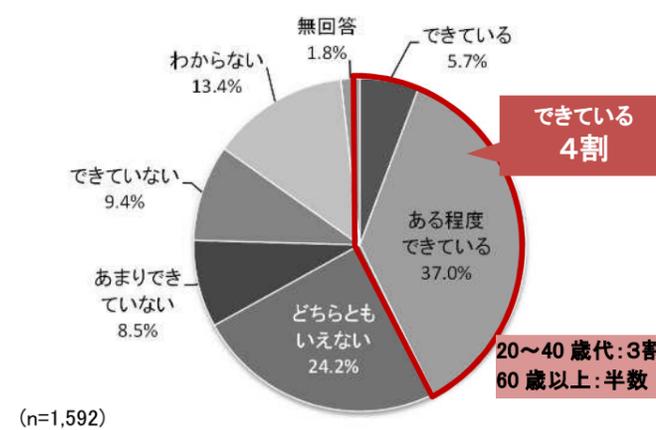


## 協働のまちづくりについて

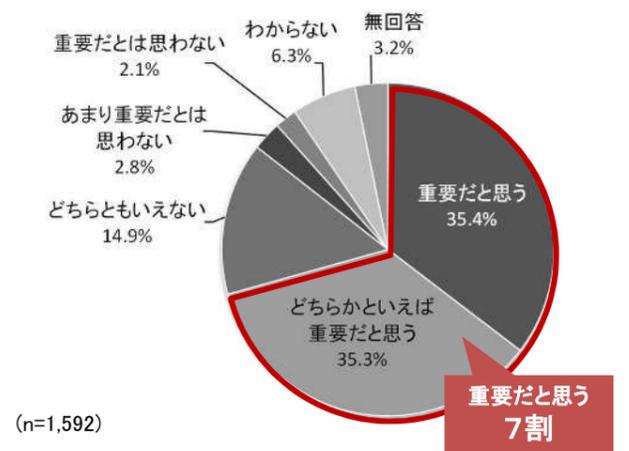
地域での住民同士の助け合いは4割ができていると感じているが、若い世代や外国人も含めた協働のまちづくりの機会や場の充実を図っていくことが必要と考えられる。

- 地域での住民同士の助け合いは、4割ができていると回答している。
- 国籍や民族の異なる人々が互いに認め合い、共に暮らす社会の実現は、7割が重要と考えており、若い世代ほど認識が高い。

Q: 住民同士の助け合い



Q: 国籍や民族の異なる人々が共に暮らす社会の実現



\*加重平均

以下の加点表に基づいて加点した総合点（各選択肢の回答数×加点を合計した値）÷全回答者数（1,594件）値が大きいほど満足度が高く、数値がマイナスだと不満が多く、その絶対値が大きいほど不満度が高くなる。

満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない/わからない	どちらかといえば不満	不満
2点	1点	0点	-1点	-2点